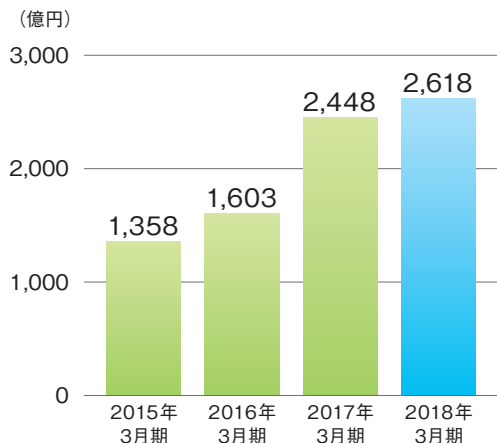




売上収益

2,618億円 前期比 **7.0%増**

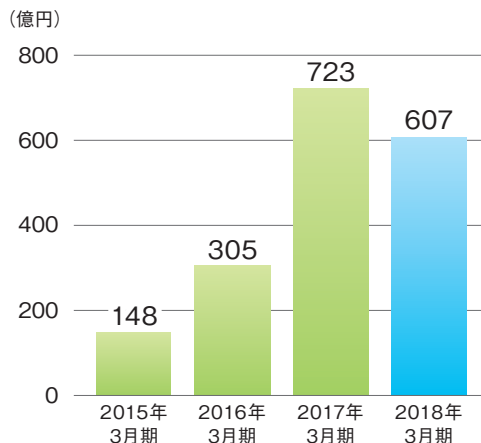


オプジーボの国内売上が減少するもロイヤルティ収入の増加等から増収

抗悪性腫瘍剤「オプジーボ点滴静注」は、2017年2月より薬価が50%引き下げられたものの、効能追加等により売上減を最小限に留めました。また、その他の主要新製品の売上増に加え、ロイヤルティ収入が大幅に増加した結果、当期の売上収益は前期比170億円(7.0%)増の2,618億円となりました。

営業利益

607億円 前期比 **16.0%減**

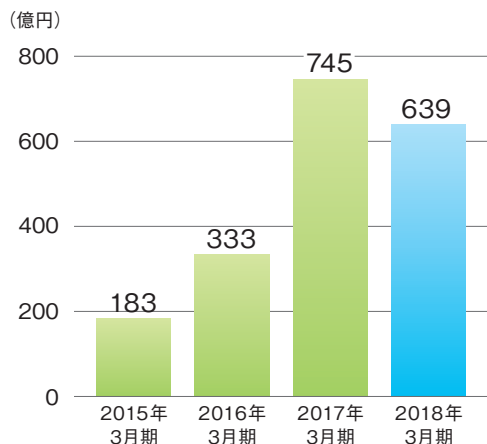


販売費及び一般管理費の増加と前期の訴訟和解一時金計上の影響から減益

売上収益が増加したものの、研究開発費を含む販売費及び一般管理費が増加しました。また、前期に抗PD-1抗体特許侵害訴訟に伴う和解一時金178億円などを計上した反動もあり、当期の営業利益は前期比116億円(16.0%)減の607億円となりました。

税引前当期利益

639億円 前期比 **14.2%減**

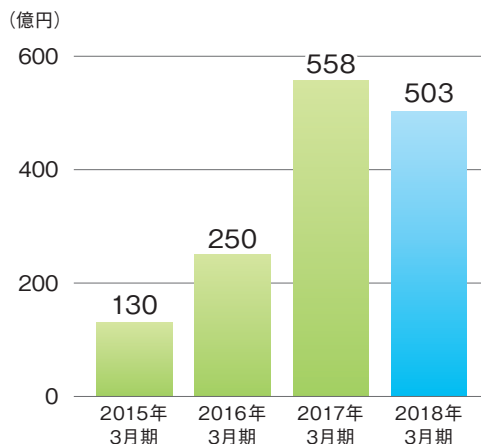


金融収支が前期よりも増加するものの、営業減益により減益

金融収支は前期比4億円増の32億円となりましたが、営業利益の減少により、税引前当期利益は前期比106億円(14.2%)減の639億円となりました。

親会社の所有者に帰属する当期利益

503億円 前期比 **9.9%減**



研究開発費の増加に伴い、試験研究費の税額控除額が増加したものの、減益

税引前当期利益は14.2%減少しましたが、一方で研究開発費の増加に伴い、試験研究費の税額控除額が増加したことにより、親会社の所有者に帰属する当期利益は前期比55億円(9.9%)減の503億円となりました。